

# 観音寺商工会議所

## 2019年度 経営発達支援事業 報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2018年3月に経済産業省より経営発達支援計画の認定を受け、管内小規模事業者の持続的発展に資するため、2018年4月より経営発達支援事業の取組みを開始し、2019年度が2年目となります。

2019年度の実施内容とそれに対する評価および本事業がより効果的なものとなるよう次年度に向けての改善策を次の通り報告します。

各取組みにおいては以下の基準を設定し評価を行いました。

<評価基準>

A	目標を達成することができた。(100%以上)
B	目標を概ね達成することができた。(80~99%)
C	目標を半分程度しか達成できていない。(30~79%)
D	目標達成をほとんど達成できてない。(30%未満)
E	未実施であった。

# I. 経営発達支援事業の内容

## 1. 地域経済動向調査に関すること【指針③】

[実施内容・評価]

### ①他機関による調査結果の分析

他機関による調査結果を収集し分析を行う計画であったが、実施できなかった。

	目標	実績	達成率	評価
分析回数	2回	0回	0%	E

### ②管内事業者動向調査

事業者の経営状況と課題の把握、また、業績と経営者の意欲がどのように関係しているのかを調査するためアンケート調査および分析を行った。経営理念やビジョンの作成、目標設定、規模拡大意欲がどの程度あるのかを調査し、業績との関連を分析した。

アンケート用紙は郵送およびFAX、直接回収にて収集し、報告書は当初ホームページにて公開した。

	目標	実績	達成率	評価
アンケート回収数	300者	242者	81%	B

### ③管内小規模事業者実態調査

管内事業者動向調査の結果を受け、小規模事業者がどのようにして経営理念を策定し、浸透のための活動をしているのかという実態を把握するため、経営者へのヒアリング調査を行い、報告書としてまとめたうえで当初ホームページにて情報提供を行った。

	目標	実績	達成率	評価
アンケート回収数	30者	6者	20%	D

[反省・改善策]

「①他機関による調査結果の分析」については、進捗管理ができておらず、実施できなかった。計画的な実施と進捗管理を徹底する必要がある。

「②管内事業者動向調査」については、回収数は前年より上回ったものの目標数達成には至らなかった。直接回収の目標数を各職員別に割り振ったり、各種会合の際にアンケート調査を行ったりすることにより改善を図りたい。

「③管内小規模事業者実態調査」については、前年度の反省を踏まえ、ヒアリング調査を実施できたことは良かったが、目標回収数を大きく下回った。各担当者の確実な実施が望まれる。

## 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

## 3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

[実施内容・評価]

### ①経営分析・事業計画策定の周知・啓蒙活動

経営分析・経営計画の必要性を啓蒙するため、パンフレットをダイレクトメールにて配布した。

	目標	実績	達成率	評価
パンフレット配布数	300者	661者	220%	A

### ②経営分析・事業計画策定セミナーの実施

経営分析・経営計画に関するセミナーを開催した。参加した事業者を事例としてワークを行い、経営分析から事業計画策定までを実際に体感できる内容であった。セミナー受講がきっかけとなり、その後の継続支援にもつながっている。

	目標	実績	達成率	評価
セミナー受講者数	15者	6者	40%	C

### ③経営分析・事業計画策定支援

セミナーに参加した企業や各種補助金の相談等をきっかけに経営分析および事業計画作成の支援を行った。

	目標	実績	達成率	評価
経営分析支援件数	23者	24者	100%	A
事業計画策定支援件数	18者	22者	116%	A

[反省・改善策]

セミナーの受講者数は目標未達であった。経営分析・事業計画策定の支援件数については目標を上回ったが、このうち、小規模事業者持続化補助金の申請を通じた支援が多くを占めている。補助金の申請を支援するのは良いが、補助金が受給されれば支援が終了するケースも多い。

小規模事業者への継続した支援を業績向上につなげるためには、補助金利用後にさらなる支援を提案する。もしくは、補助金申請の有無に関わらず経営分析および事業計画作成の提案を行わなければならない。そのためには、やはり周知啓蒙活動を継続し、事業計画作成セミナーの参加者数を増加させることがポイントとなる。

#### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

[実施内容・評価]

①定期的な進捗状況確認

②アクションプラン実施支援

事業計画を策定した事業者に対して、定期的に進捗状況を確認し、必要に応じてアクションプランの実行支援や計画の修正等を行った。

	目標	実績	達成率	評価
支援事業者数	45者	31者	67%	C
延べ支援回数	126回	262回	203%	A

(参考データ) 経営分析・事業計画等策定支援

財務状況を把握している支援事業者数	17者
内 売上高増加事業者数(5%以上)	7者
内 売上総利益増加事業者数(5%以上)	8者
創業計画策定支援事業者数	9者

(参考データ) 各種補助金申請支援

小規模事業者持続化補助金	17者
ものづくり補助金	0者
観音寺市創業補助金	7者

[反省・改善策]

述べ支援回数は目標を上回っており、支援事業者数は昨年より増加しているものの、目標未達であった。

これは、昨年支援した事業者への支援が継続できてないことが大きな要因である。前項にも記載したが、特に小規模事業者持続化補助金の申請を目的とした支援の場合、補助金が受給されると同時に支援が終了してしまうケースが多い。補助金の採択を目的とした支援ではなく、長期的な視点で事業者の将来を捉え、継続を前提とした支援を行う必要がある。

そのためには、小規模事業者持続化補助金の申請支援の際に、適切な経営分析と事業計画作成を行い、継続した経営努力の必要性を感じてもらわなければならない。

## 5. 需要動向調査に関すること【指針③】

### [実施内容・評価]

#### ①アンケート調査

事業者が新商品開発等の参考にするためを行うにあたり、顧客の声を収集するためのアンケート調査実施支援を行った。

#### ②モニター調査・テストマーケティング

アンケート調査に合わせてモニター調査を実施し、直接消費者の声を収集することによって商品開発の参考とした。

	目標	実績	達成率	評価
アンケート実施事業者数	2者	4者	200%	A
モニターテスト実施事業者数	2者	4者	200%	A

### [反省・改善策]

支援先事業者に対してマーケットインの視点の有効性を啓蒙することを目的としていたが、目標を上回る支援を行うことができた。今後も継続してこのような支援を行うことが望まれる。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

### [実施内容・評価]

#### ①展示・商談会出展支援

高松商工会議所との共催により継続的支援を通して商談会の出展と販路開拓を支援する「GROW UP プログラム」を開催した。出展経験のない3事業者の参加があり、販路開拓の機会創出につながった。

#### ②EC支援

ECサイトの運用支援を実施し、需要拡大の成果が得られた。

	目標	実績	達成率	評価
展示・商談会支援事業者数	2者	4者	200%	A
展示・商談会成約事業者数	2者	2者	100%	A
EC支援事業者数	2者	1者	50%	C
EC需要拡大事業者数	2者	1者	50%	C

### [反省・改善策]

展示・商談会等については、積極的な支援を心掛けたことにより、支援事業者数、成約事業者数ともに昨年より増加した。ECによる需要拡大支援については、支援先事業者の掘り起こしについて、さらなる努力が求められる。

## Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組

### [実施内容]

#### ○ショップインショップ

商店街連合会がショップインショップ事業の一環として開催している「パンストリート事業」の運営支援を行った。本事業では、市内外より35店のパン屋が臨時店舗を出店するイベントであり、空き店舗活用や既存店舗のデッドスペース活用、創業機運醸成のために実施している。当日は約1万人の来場者で賑わった。

### [反省・改善策]

今年度は「かんおんじ感動体験博覧会かんぱく」の開催が取止めとなった。

現在盛り上がりを見せているご当地アニメや観光地（高屋神社）を活用した取組みを模索する必要がある。

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

[実施内容]

県内商工会議所においては相談所長会議、各種研修会、マル経協議会等において情報交換を行っている。

金融機関との連携としては、メンバーズビジネスローンの活用、創業支援における連携等、金融機関と商工会議所が一体となった支援を行っている。

[反省・改善策]

現在、商工会議所以外の公的支援機関とはあまり連携が取れていないが、県内の各種支援機関と連携体制を構築していくことが望ましい。そのために、まずは各機関がどのような支援を行っているのかを把握し、職員間での情報共有を図りたい。

#### 2. 経営指導員の資質向上に関すること

[実施内容]

支援情報の共有とスキルアップを目的として定期的に経営支援担当職員での会議を開催した。各担当者の支援事例について情報共有および事例研究を行った。

また、中小企業大学校での研修にも職員を派遣し、研修終了後には職員間での情報共有を行っている。

<経営支援担当者会議の内容>

開催日	内容	開催日	内容
5月10日	伴走型支援	10月23日	支援事例研究
6月18日	コピーライティング	11月25日	支援事例研究
7月24日	ヒアリングの進め方	2月12日	事業承継支援
9月20日	創業支援	3月17日	支援事例研究

[反省・改善策]

支援担当者会議を開催しているものの個人のスキルアップにつながっているとは言い難い。支援担当者のスキルアップを図るためには、継続した内部研修の開催と外部研修の活用、OJTの実施、自己学習が有効だと考えられるが、自己学習がほとんど行われていないのが現状である。自己学習を促すためには、長期的な視点で支援担当者のモチベーションアップを図る必要がある。



## 総括

本事業の肝である経営分析および事業計画策定の支援件数は昨年度より増加している。また、財務状況を把握している支援先のうち47%（前年度44%）の事業者は売上総利益が5%以上増加しており、支援により一定の成果が出ていると考えられる。

数値目標設定項目（15項目）のうち目標を概ね達成できた項目（B評価以上）は9項目に増加（前年度8項目）したものの、小規模事業者支援の充実のためにはさらなる努力が求められる。

### <総括表>

項目	実施内容	評価			改善策
		項目	前	今	
I 経営発達支援事業 1. 地域経済動向調査に関すること	①他機関による調査結果の分析	分析回数	E	E	計画を立てて実施する。
	②管内事業者動向調査	アンケート回収数	C	B	個人別回収数目標を設定する。各種会合の際に調査を実施する。
	③管内小規模事業者実施調査	アンケート回収数	A	D	早期実施により回収数を増加させる。
2. 経営状況の分析に関すること 3. 事業計画策定支援に関すること	①経営分析・事業計画策定の周知・啓蒙活動	パンフレット配布数	A	A	窓口相談、巡回相談、各種会合を通じて周知啓蒙を行う。補助金受給後に継続した支援提案を行う。
	②経営分析・事業計画策定セミナーの実施	セミナー受講者数	C	C	
	③経営分析・事業計画策定支援	経営分析支援件数	A	A	
	③経営分析・事業計画策定支援	事業計画策定支援件数	A	A	
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	①定期的な進捗状況確認	支援事業者数	B	C	補助金受給後に継続した支援提案を行う。
	②アクションプラン実施支援	延べ支援回数	A	A	
5. 需要動向調査に関すること	①アンケート調査	アンケート実施事業者数	A	A	同支援を継続する。
	②モニター調査・テストマーケティング	モニターテスト実施事業者数	C	A	
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	①展示・商談会出展支援	支援事業者数	E	A	同支援を継続する。
		成約事業者数	E	A	
	②EC支援	支援事業者数	A	C	ECサイト活用事業者の掘り起こしを行う。
		需要拡大事業者数	D	C	
II 地域経済の活性化に資する取組み	パンストリートかんぱく	—	—	—	ご当地アニメや高屋神社との連携を検討する。
III 支援力向上のための取組み 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	金融機関、支援機関等との情報交換および連携	—	—	—	各機関の支援内容等を職員で情報共有する。
2. 経営指導員の資質向上に関すること	支援カルテの作成 支援担当職員会議の開催	—	—	—	長期的視点で意欲喚起を図っていく。

## 経営発達支援事業に対する有識者の意見

経営発達支援事業の評価および見直しのため、委員会を開催し、有識者より意見をいただいた。

日 時	令和2年8月5日（水）10：00～11：00		
場 所	観音寺商工会議所		
出席者	（株）森の経営コンサルタント 代表取締役	森 昭博 氏	
	観音寺信用金庫 本店営業部	森 政俊 氏	
	香川県 商工労働部経営支援課	鴨居 佳代 氏	
	観音寺市 商工観光課	平山 秀一 氏	
	観音寺市 商工観光課	森 啓太郎 氏	

（有識者の主な意見）

- ・ 経営理念をテーマにしたアンケート調査および分析は有意義だと思う。分析結果を周知や事業者支援に活用して欲しい。
- ・ 経営計画作成セミナーは参加者の満足度が高く有意義な取組みとなっている。
- ・ 観音寺信用金庫において三豊観音寺地域および全国での経済動向調査を実施しているので、活用していただきたい。事業者支援の際には連携していきたい。
- ・ 事業者より商工会議所のことを聞く機会が増えており、個社支援の取組みが浸透していると感じる。